

# 2021年 従業者向け 放課後等デイサービス自己評価表 ライフ南手城

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
①	職員の配置数は適切であるか。	○			法定基準を満たし、それ以上の配置をしている。
②	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			会社としてPDCAサイクルを取り入れており、職員もこれを基に振り返りを行なっている。
③	インシデント・アクシデントの報告書を作成して、事業所内で共有しているか。	○			対策や対応方法の検討し、その対策が有効であったのかを、一か月毎に評価を行なっている。
④	顧客満足度アンケートの実施により、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか。	○			年に1回(9月)顧客満足度アンケートを行ない、業務改善に生かしている。
⑤	この自己評価表や顧客満足度アンケートの結果を、保護者に公表しているか。	○			自己評価表、アンケートともに、保護者に郵送し事業所内にも掲示している。
⑥	定期的に会報等を発行し、活動内容を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			毎月「事業所内お便り」という形で活動の様子や職員の研修の様子をお知らせしている。
⑦	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	○			オンラインで接遇・感染症研修を行なった。また、新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインのeラーニングを常勤職員は受講している。新規入職者にも随時受講をしてもらっている。
⑧	虐待を防止するため、職員の研修をしているか。	○			ミーティングにて適切な支援の手順の統一を図ったり、権利擁護研修等を開催して職員の意識向上に努めている。また、2022年1月に虐待防止研修を行う予定。
⑨	ニーズや課題を把握し、放課後等デイサービス個別支援計画を作成し、定期的に見直しを行っているか。	○			契約時に本人と保護者様のニーズを把握し、児発管が計画を作成している。長くて6か月毎にモニタリングし、担当者会議を実施。原案作成をしている。
⑩	日々の支援に関して記録し、支援の検証・改善につなげているか。	○			「目標に対してどうであったのか」記録に残している。記録に記載した内容についてはMTG前に読んで確認し、その後のMTG時検証・改善策を話し合っている。
⑪	定期的にミーティングの場を設け、支援の振り返りを行っているか。	○			ほぼ毎日ミーティングを行ない、前日・前々日の支援の振り返りを行なっている。
⑫	保護者からの子どもに関する相談に応じ、話をする機会を設けているか。	○			保護者からの相談内容に応じて、電話連絡や送迎時に経過の伝達を行なうようにしている。
⑬	学校との情報共有(子どもの下校時間の確認、子どもの学校での様子等)を行っているか。	○			学校送迎時に、学校での様子を確認している。また、電話で情報共有を行ったり、ケース会議開催時には参加をしている。
⑭	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、迅速に対応しているか。	○			苦情があった場合、上長に報告している。その後、問題解決の為、迅速に対応している。
⑮	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		今年度はコロナの影響で中止となったが、「こやまケア・チームケア学会の選考会」や、本社敷地内にて「あしすと祭り」を行っており、地域の方々を招待している。また、祭りには各施設の児童も参加し、地域の方々とふれあう機会を設けている。
⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っているか。	○			年間計画として、年に3回避難訓練(地震・洪水・火事・Jアラート)を実施している。